

令和2年4月27日

利用者の皆様

横浜市南部地域療育センター
所長 磯崎 仁太郎

新型コロナウイルス感染防止に関わる対応方針について

日頃、横浜市南部地域療育センターの運営にご協力いただき誠にありがとうございます。

この度、緊急事態宣言を受けて当センターでも診療や訓練、集団療育等を休止いたしました。利用者の皆様には大変ご不便をおかけいたしました。新型コロナウイルスによる感染状況は、まだ予断を許さない状況です。ご利用の皆様には、引き続き感染拡大を防ぐためのご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

【日頃の体調チェックと登園の判断】

- ・ご利用前の体温チェックを徹底してください。**37℃以上ある場合は利用を控えてください。**（平熱が高いお子さんはこの限りではありません）
また、**保護者の方も熱がある場合には送迎及び利用を控えてください。**
- ・体温以外にも**長引く咳や強い倦怠感**などがあるときは、利用を控えてください。
- ・上記の様子が利用時や利用中に見られた場合は訓練等を中止いたします。その後も体調が回復するまではご利用を控えていただきますようお願いします。
（集団療育では37.5℃以上を早退の基準としていますが、基準以下であってもお子さんの症状を見ながら判断することがあります。また、**37.5℃以上の発熱が見られた場合は、解熱後24時間経過**してからの利用になります。）
- ・状況によりお子さんの**障害や疾患の状況**（呼吸器系などに持病や障害のあるお子さん）に応じて、利用を控えていただくことがあります。
- ・風邪の症状（咳、鼻水、くしゃみ、発熱等）や**37.5℃以上の発熱が4日以上続く場合、強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）**がある場合は「**帰国者・接触者相談センター**」に相談してください。

【咳エチケットと手洗いについて】

- ・**咳エチケット**のマスク着用、**手洗い、消毒**にご協力ください。

【職員側の対応】

- ・感染防止のルールは職員にも徹底します。

次ページあり

【その他】

- ・記載されたような症状が、お子さん・職員に複数同時にみられた場合は、インフルエンザ流行時と同様にクラス閉鎖または訓練等の休止等を行うことがあります。
 - ・職員の状況（出勤状況等）によって集団療育のクラスを休みにすることがあります。また、診療や個別訓練等は、日程や担当の変更を行う場合があります。
 - ・集団療育についてはご兄弟の療育参加をご遠慮いただいております。また、外来をご利用される際も、感染症拡大防止のため、**なるべくご兄弟姉妹等の同伴はご遠慮いただくようお願い申し上げます**。やむを得ず、同伴される場合は体温チェックをしてからの来所にご協力ください。
 - ・ご本人、または同居されるご家族が新型コロナウイルスに感染した場合や、濃厚接触者となった場合、またお子さんが通われている学校や幼稚園、保育所等で感染の情報があつた場合は、担当の職員にご連絡下さい。
- ※現時点ではこのような対応方針となっております。状況が変わった場合は、電話、おたより、またはホームページなどでお知らせしますので、随時ご確認いただきますようよろしくお願い致します。